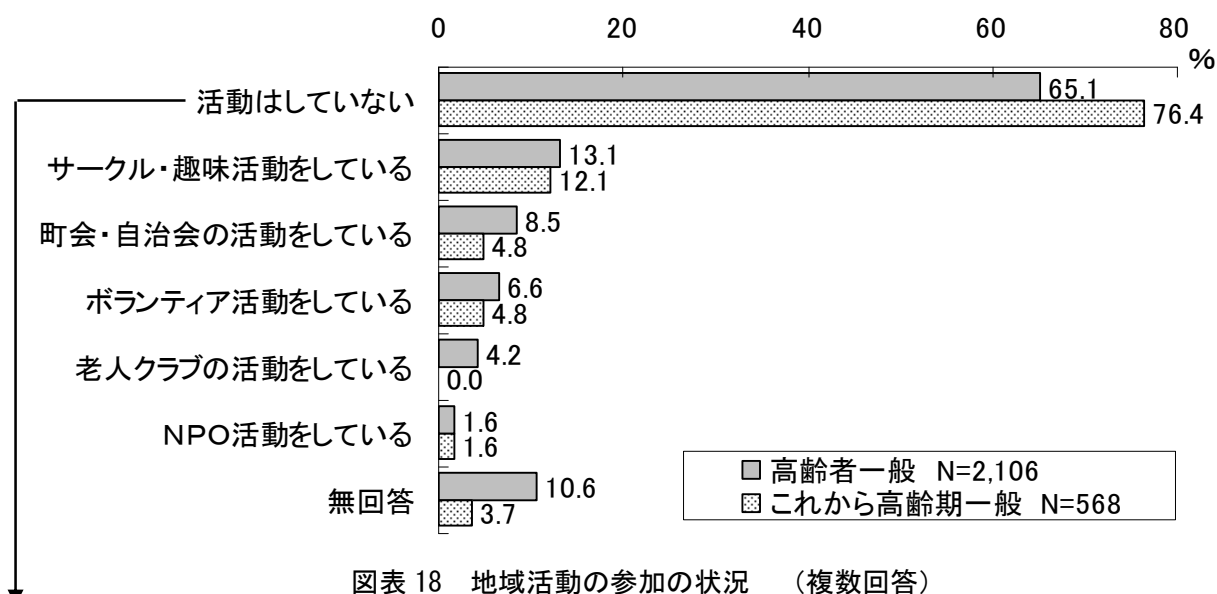


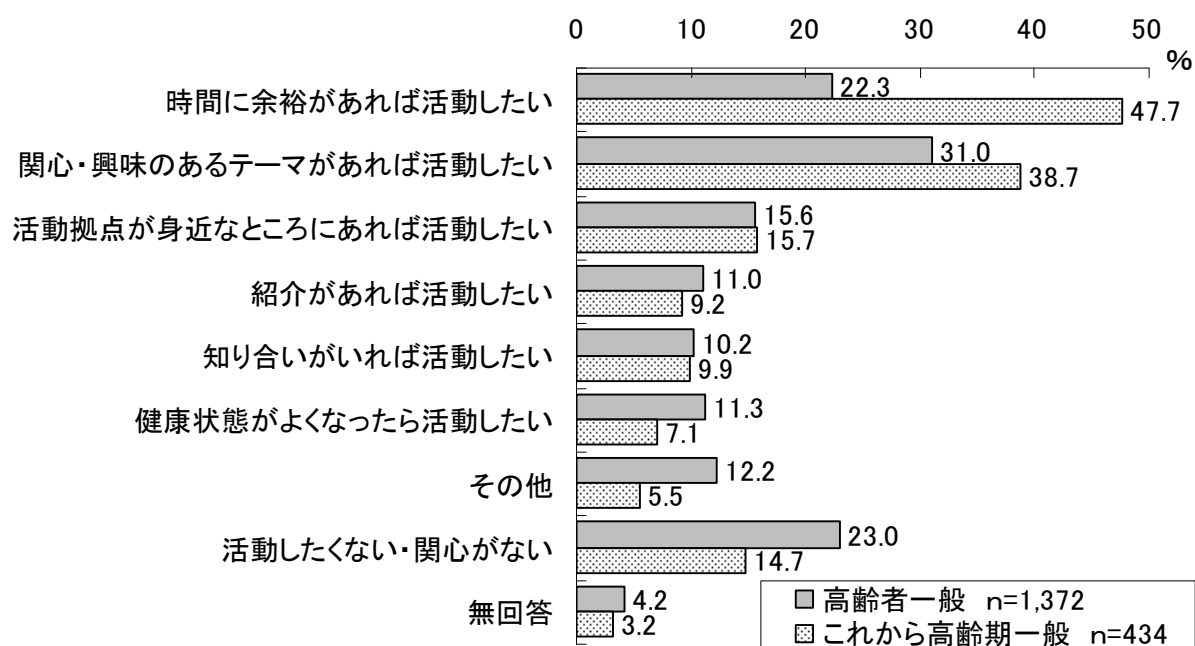
3. 社会参加

(1) 地域活動への参加の状況・きっかけ

ア. 町会・自治会やボランティア・NPOなどの地域活動への参加状況をみると、高齢者一般、これから高齢期一般ともに「活動はしていない」という回答が多い。
 イ. 活動に参加していない人が参加するきっかけは、「時間に余裕があれば活動したい」「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」が上位にあげられている。

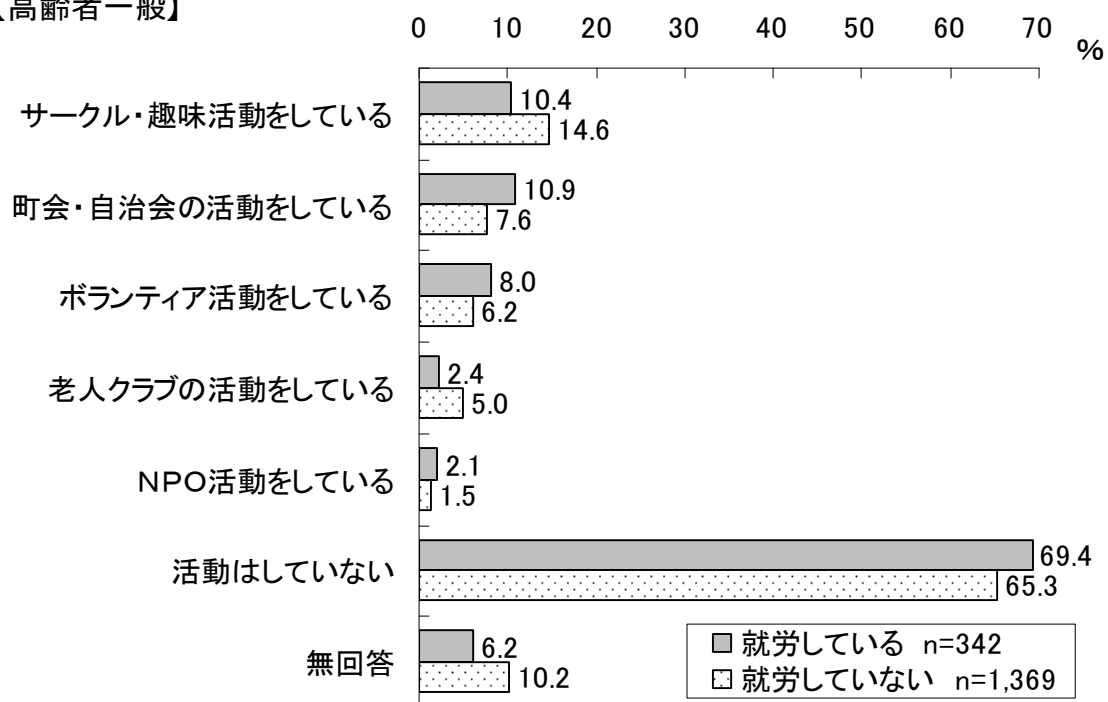


活動はしていない：高齢者一般 1,372人 これから高齢期一般 434人
【地域活動への参加のきっかけ】



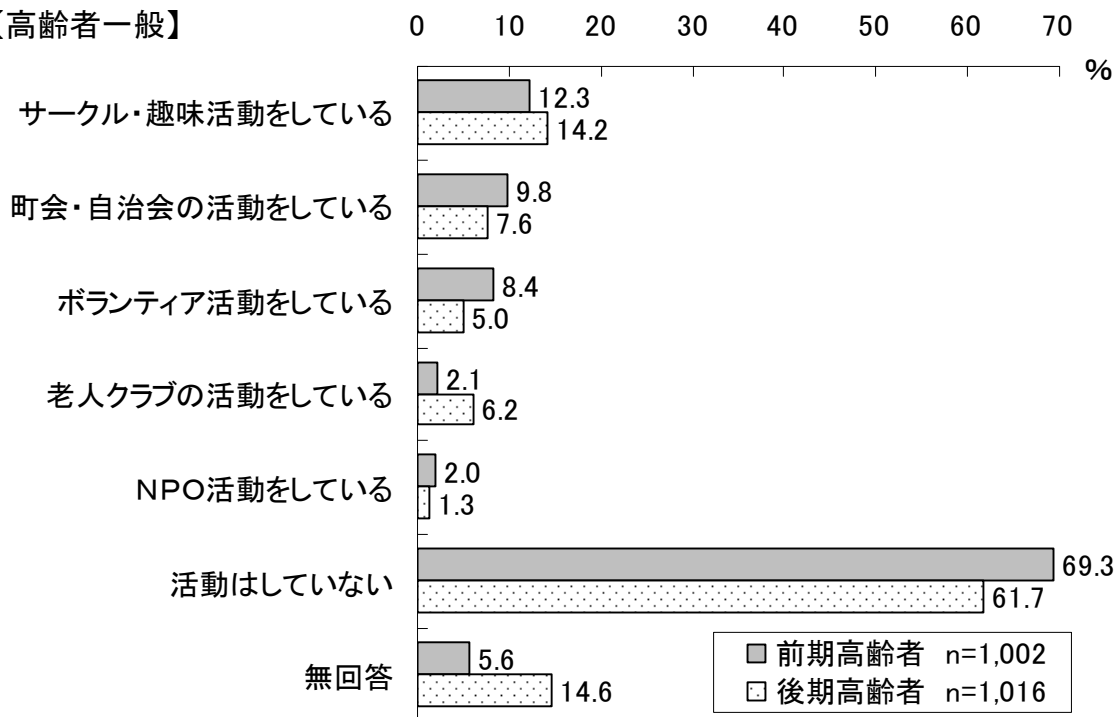
ウ. 就労の有無別や年齢区分（前期高齢者・後期高齢者）に地域活動の参加状況を見ると、それぞれ大きな差はみられない。

【高齢者一般】



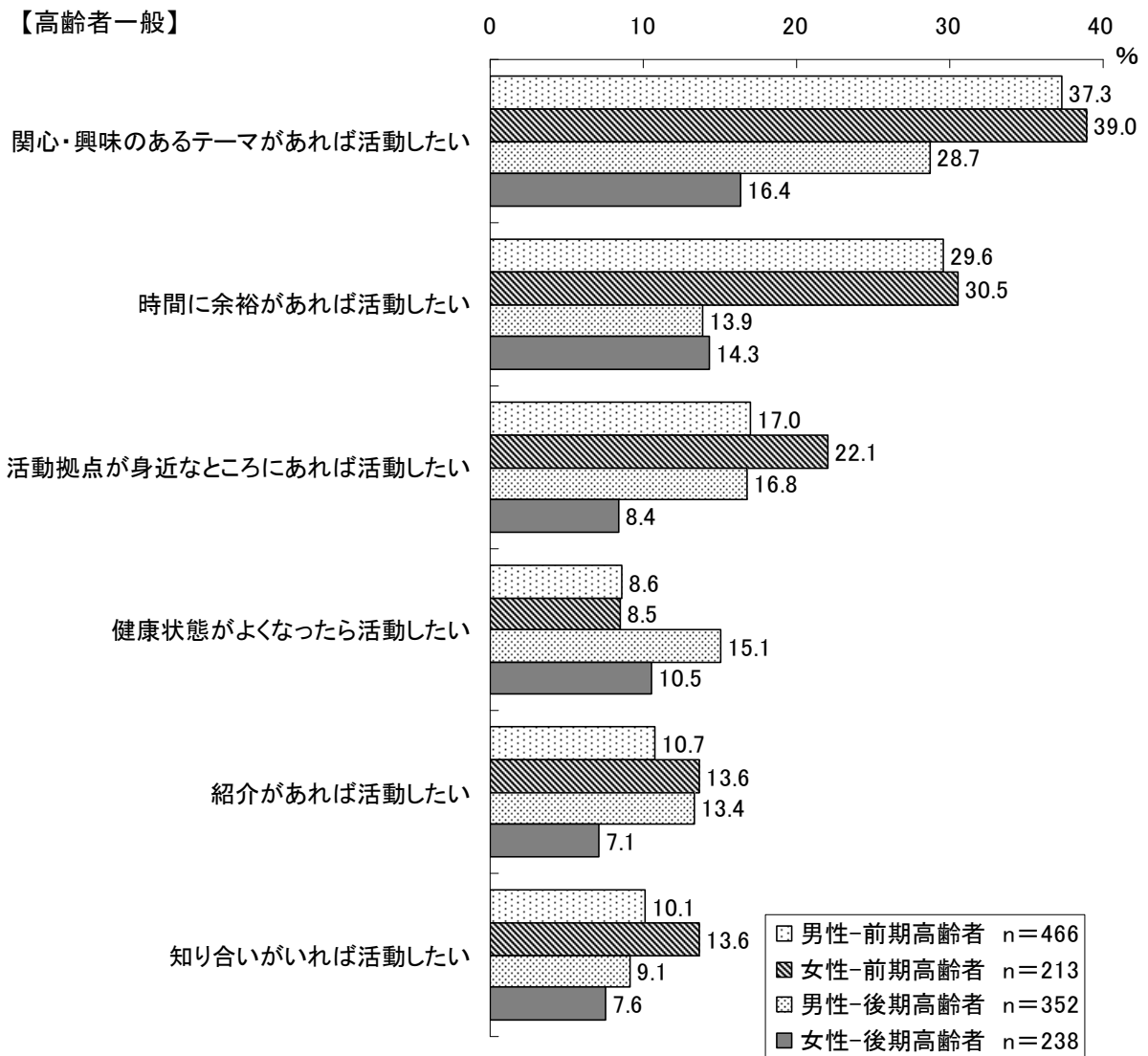
図表 20 就労の有無×地域活動の参加の状況（複数回答）

【高齢者一般】



図表 21 年齢区分×地域活動の参加の状況（複数回答）

エ. 男女・年齢区分別にみると、男女ともに前期高齢者が「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」「時間に余裕があれば活動したい」を重視する割合が高くなっている。



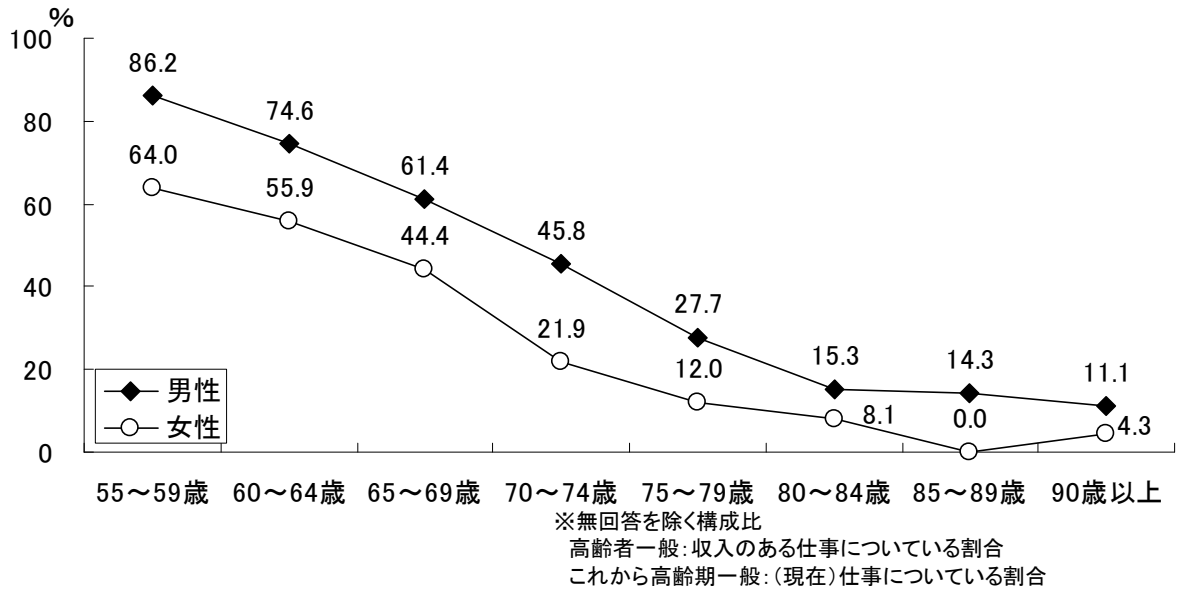
図表 22 男女・年齢区分×地域活動への参加のきっかけ（複数回答）

(2) 就労状況

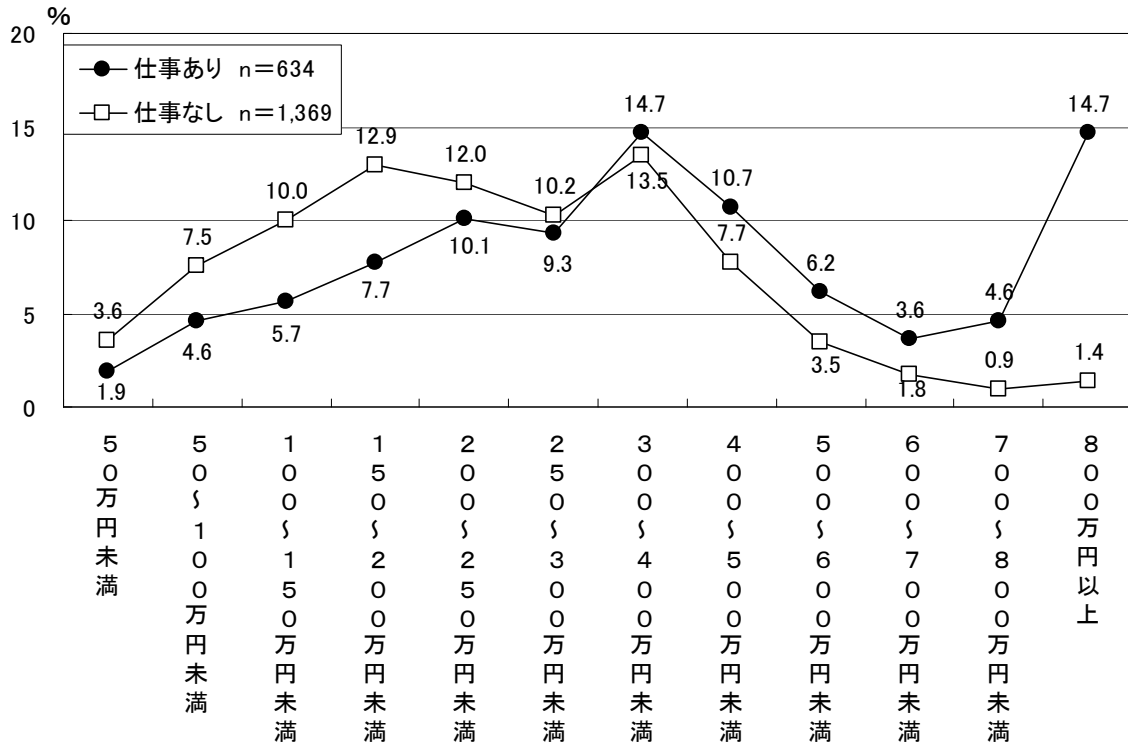
ア. 現在の就労状況について男女・年齢区分別にみると、仕事をしている割合は、いずれの年齢区分においても女性よりも男性の方が高くなっている。

イ. 定年期を迎える時期（55～59歳→60～64歳）において、就労の割合が急激に低下する状況はみられない。

ウ. 高齢者一般について、収入と仕事の有無の関係をみると、仕事の有無に関わらず年収「300～400万円未満」の割合が多くなっている。



図表 23 男女・年齢区分×就労状況 (単数回答)



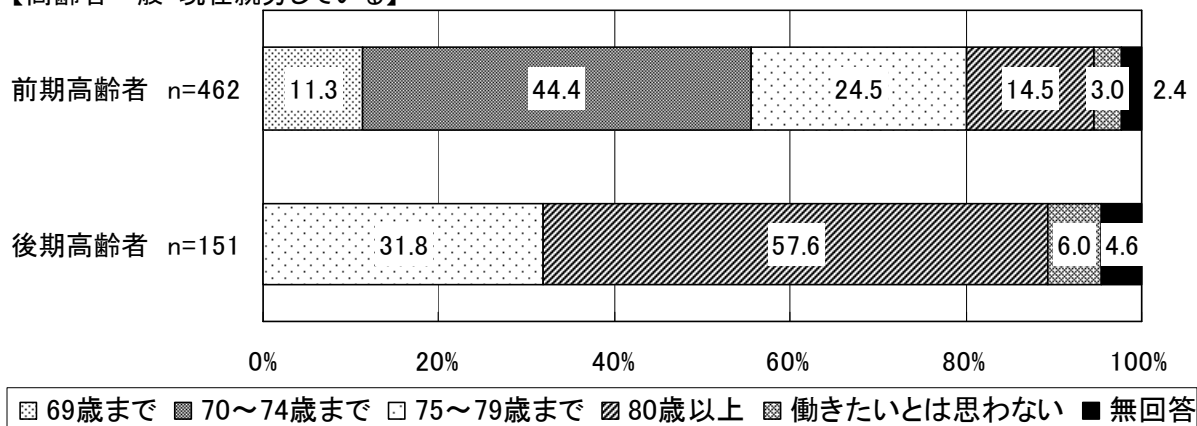
図表 24 収入のある仕事の有無×年収区分／高齢者一般 (単数回答)

(3) 就労意向・形態

ア. 高齢者一般で、現在働いている人の働き続けたい年齢をみると、前期高齢者では「70～74歳まで」が4割強、後期高齢者では「80歳以上」が6割弱となっている。

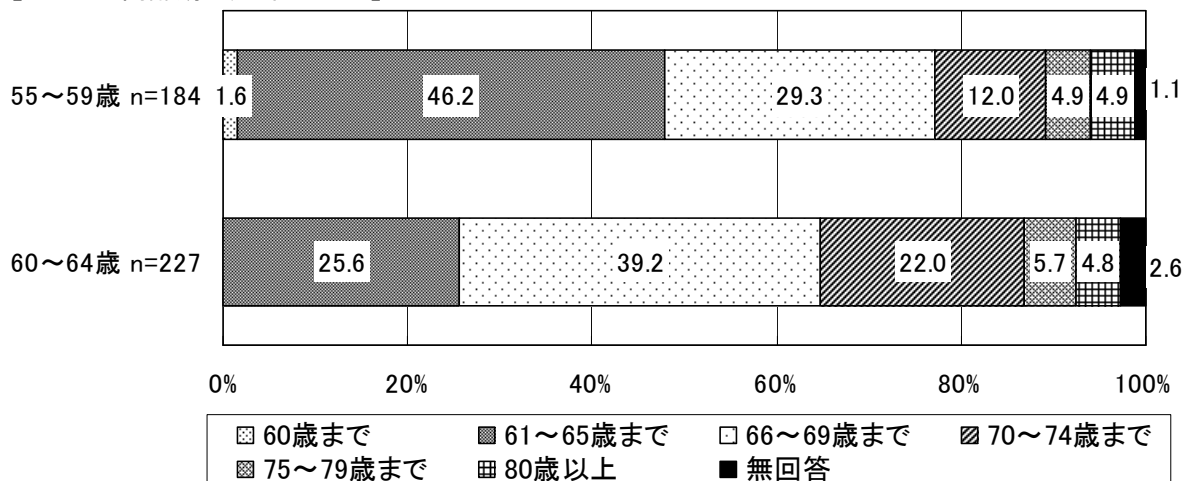
イ. これから高齢期一般のうち『働きたい』と回答した方をみると、現在55～59歳の方では「61～65歳まで」という回答が5割弱であるのに対し、現在60～64歳の方では「66～69歳まで」と回答する割合が4割弱となっている。

【高齢者一般・現在就労している】



図表 25 働き続けたい年齢／高齢者一般・現在就労している (単数回答)

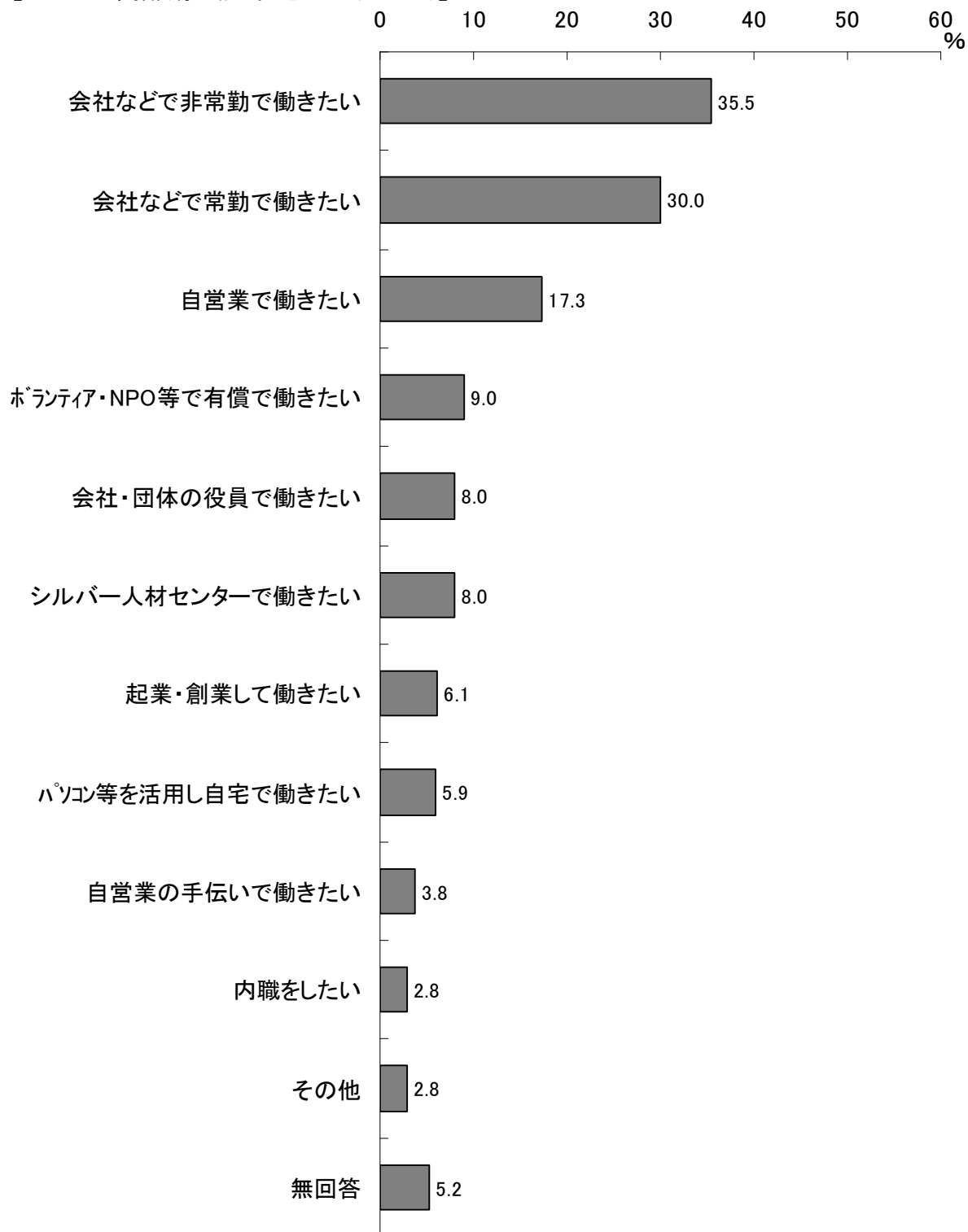
【これから高齢期一般・働きたい】



図表 26 働きたい年齢／これから高齢期一般 (単数回答)

ウ. これから高齢期一般について、『働きたい』と思っている人が希望する就労形態についてみると、「会社などで非常勤（パート・アルバイトなど）で働きたい」が4割弱と最も多い。次いで「会社などで常勤で働きたい」が3割となっている。

【これから高齢期一般・働きたい(n=423)】



図表 27 希望する就労形態／これから高齢期一般（複数回答）

エ. 「会社などで非常勤（常勤）で働きたい」以外の項目をみると、男女・年齢区分により他の区分に比べ、高い意向を示す項目に差異がみられる。

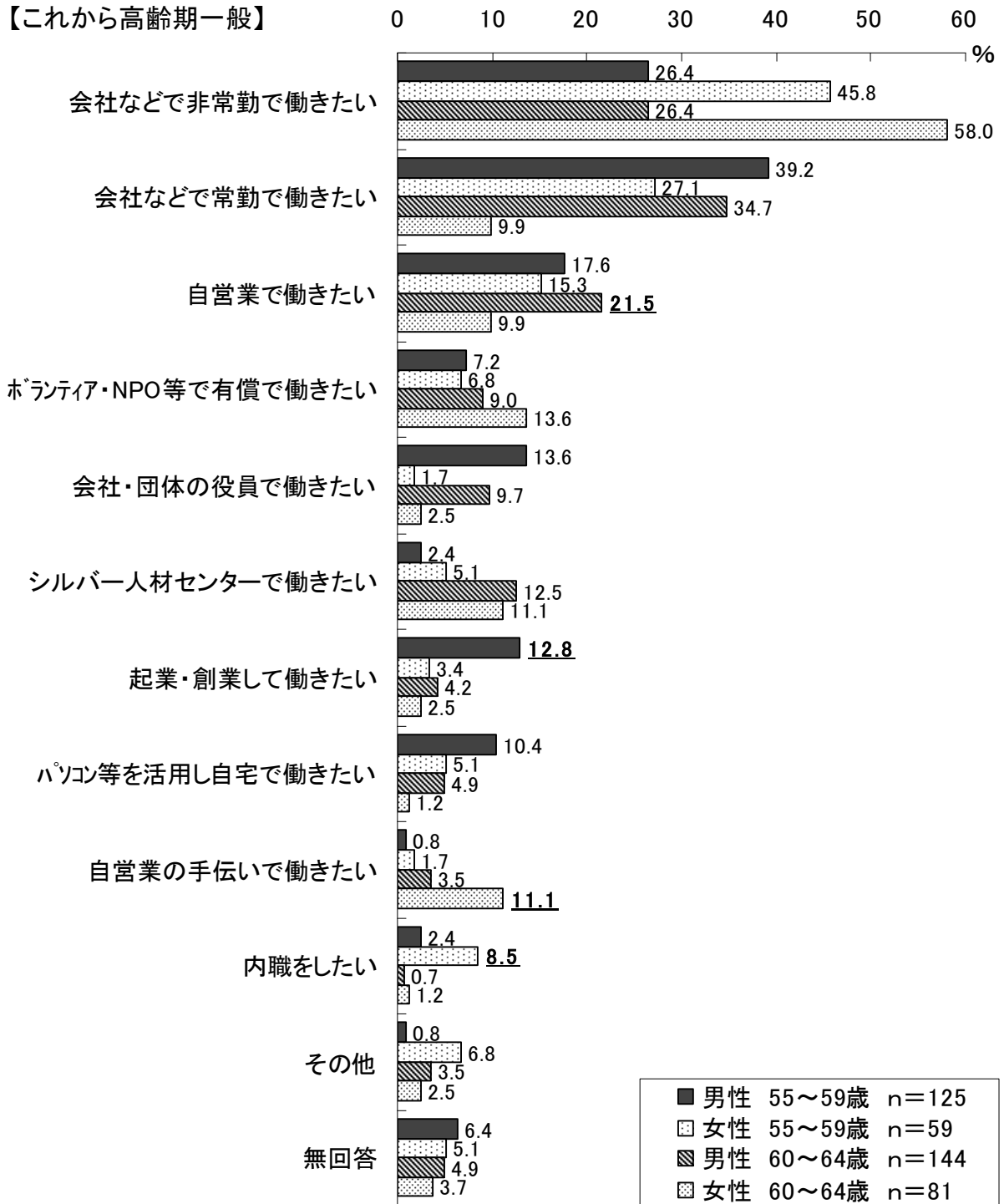
男性 55～59 歳では、「起業・創業して働きたい（12.8%）」

女性 55～59 歳では、「内職をしたい（8.5%）」

男性 60～64 歳では、「自営業で働きたい（21.5%）」

女性 60～64 歳では、「自営業の手伝いで働きたい（11.1%）」

「シルバー人材センターで働きたい」は、男女とも 60～64 歳での意向が高くなっている。

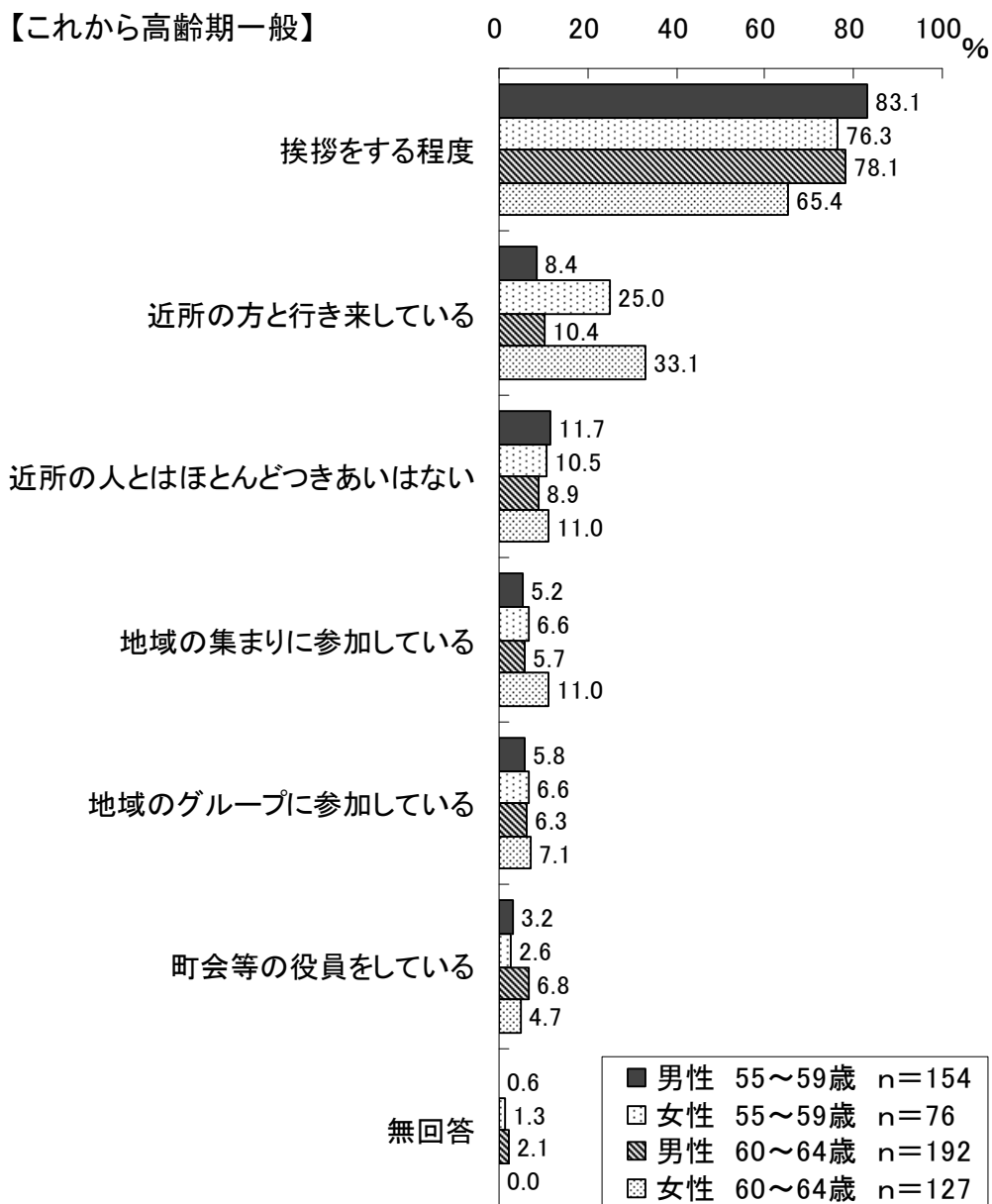


図表 28 男女・年齢区分×希望する就労形態／これから高齢期一般（複数回答）

(4) これから高齢期を迎える方の地域との関わり

ア. これから高齢期一般の地域との関わりをみると、「近所の人とはほとんどつきあいはない」が、男女・年齢問わず、1割程度みられる。

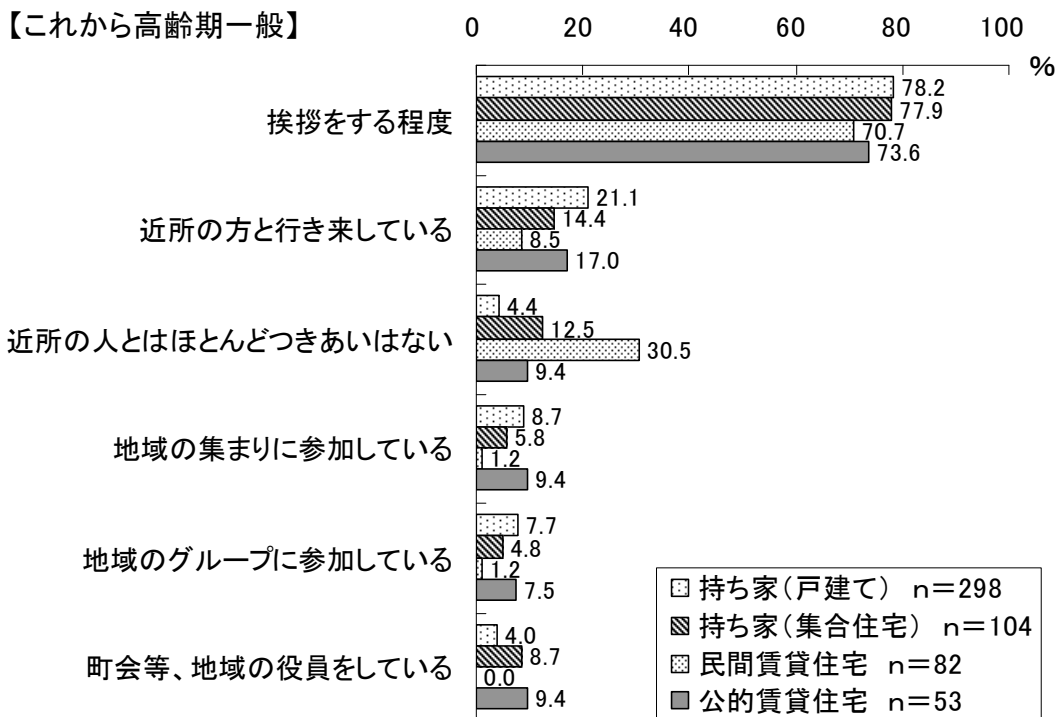
イ. 「近所の方と行き来している」は、女性での割合が高く、特に60～64歳での割合が高くなっている。一方、男性は、55～59歳、60～64歳ともに1割程度となっている。



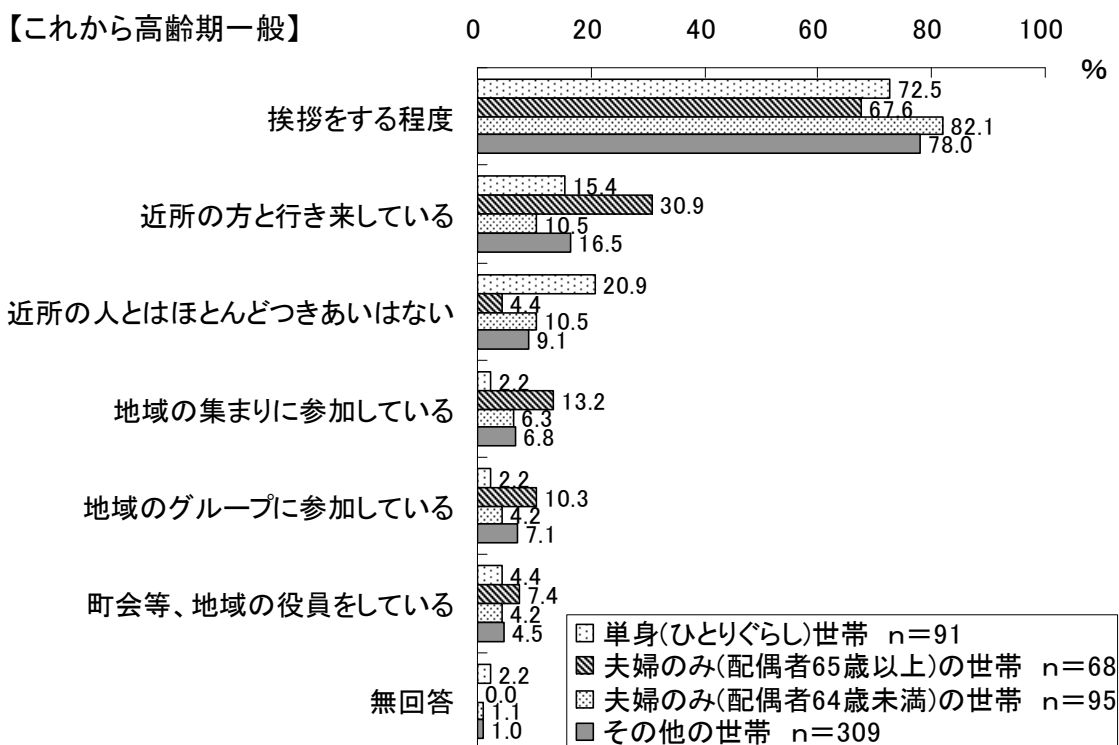
図表 29 男女・年齢区分×地域との関わり／これから高齢期一般 (複数回答)

ウ.住宅形態別にみると、持ち家（戸建て）で「近所の方と行き来している（21.1%）」の割合が高い。これに対し、民間賃貸住宅では「近所の人とはほとんどつきあいはない（30.5%）」の割合が高くなっている。

エ.世帯類型別にみると、夫婦のみ（配偶者65歳以上）の世帯で、「近所の方と行き来している」の割合が高く、単身（ひとり暮らし）世帯で「近所の人とはほとんどつきあいはない」の割合が高くなっている。



図表 30 住宅形態×地域との関わり／これから高齢期一般（複数回答）



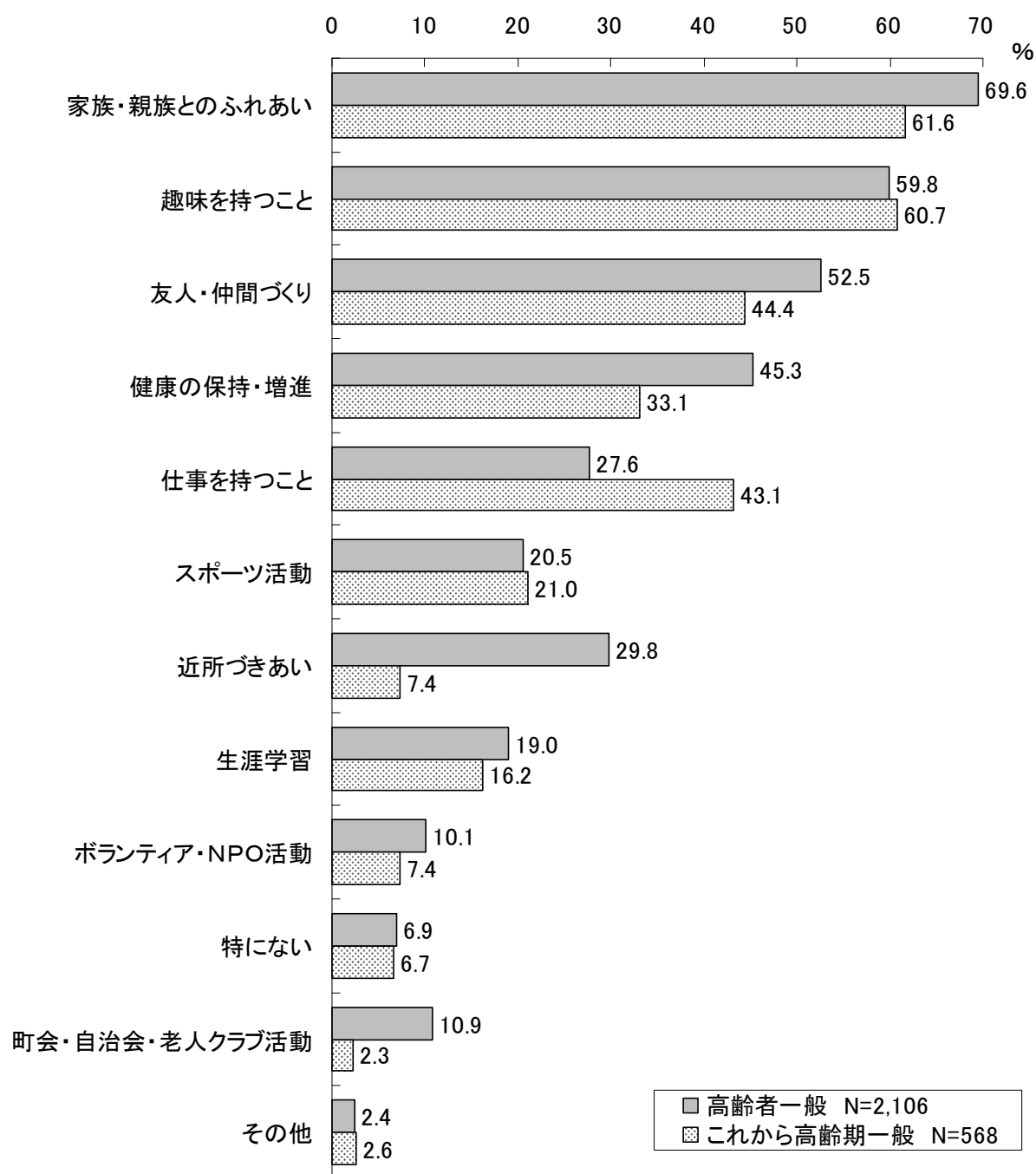
図表 31 世帯類型×地域との関わり／これから高齢期一般（複数回答）

(5) 生きがい

ア. 高齢者一般、これから高齢期一般のどちらも、生きがいについて、「家族・親族とのふれあい」「趣味を持つこと」「友人・仲間づくり」を上位にあげている。

イ. この他の項目をみると、高齢者一般では「健康の保持・増進 (45.3%)」「近所づきあい (29.8%)」の割合が高い。

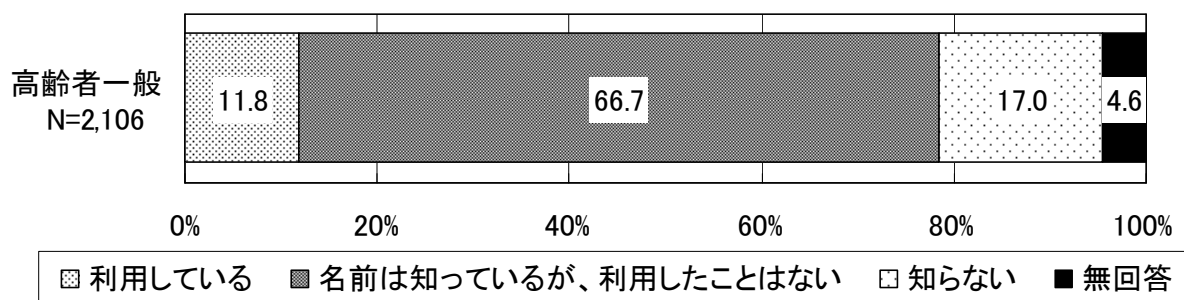
ウ. これから高齢期一般では、「仕事を持つこと (43.1%)」の割合が高い。



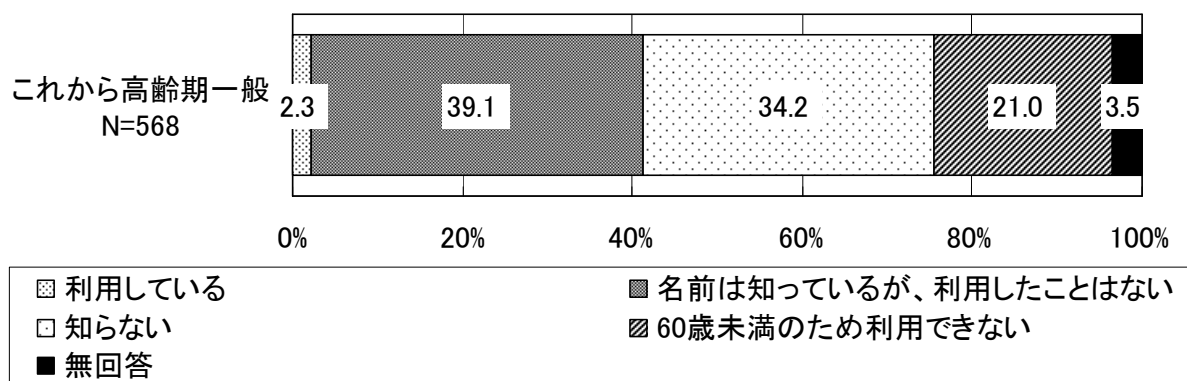
図表 32 生きがい (複数回答)

(6) 高齢者センター・敬老館・敬老室の利用状況

- ア. 高齢者一般では、「名前は知っているが、利用したことはない」が7割弱で、「利用している」は1割強となっている。
- イ. これから高齢期一般では、「名前は知っているが、利用したことはない」が約4割、「知らない」が3割強となっている。



図表 33 高齢者センター・敬老館・敬老室の利用状況／高齢者一般 (単数回答)

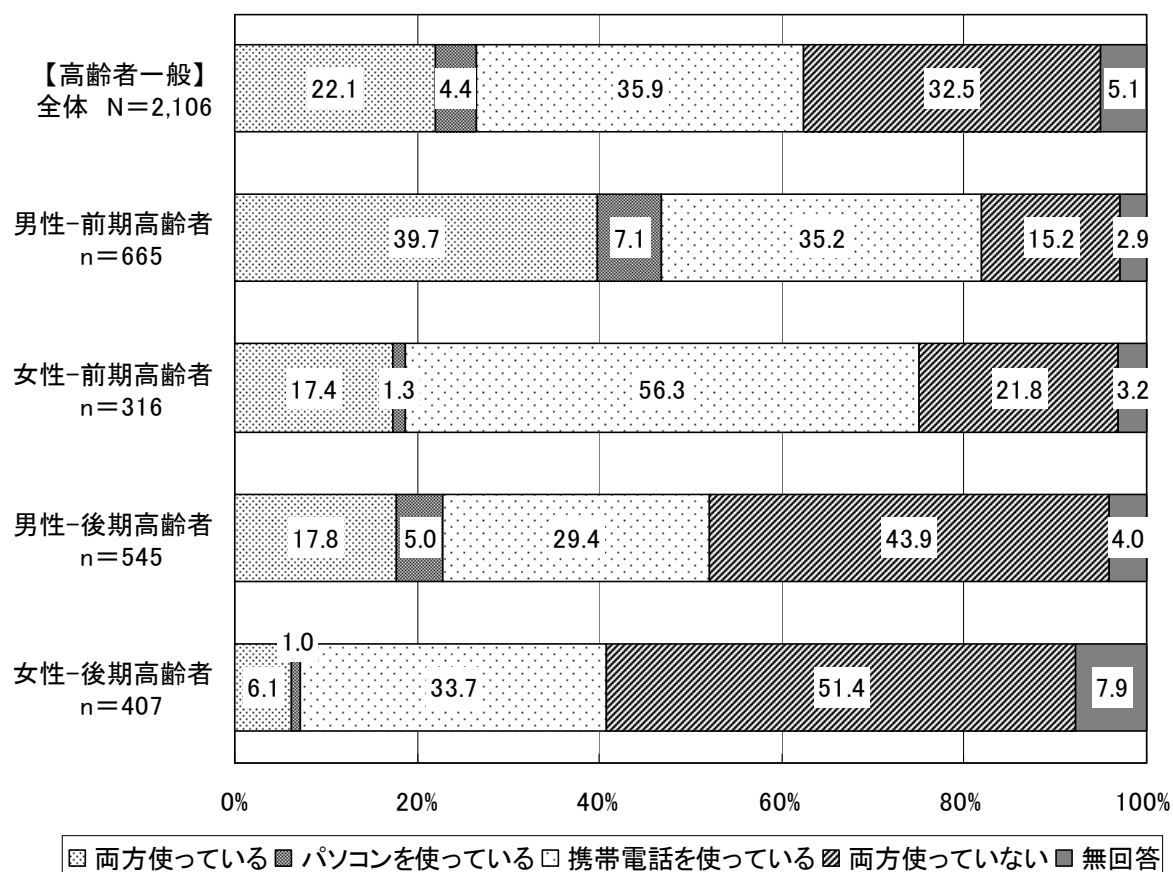


図表 34 高齢者センター・敬老館・敬老室の利用状況／これから高齢期一般 (単数回答)

(7) パソコン・携帯電話の利用状況

ア. 全体としては、パソコン、携帯電話の両方またはいずれかを使用している人は6割強となっている。

イ. 後期高齢者は、パソコン、携帯電話の両方またはいずれかを使用している人の割合が、前期高齢者に比べ、男女ともに3割程度低くなっている。

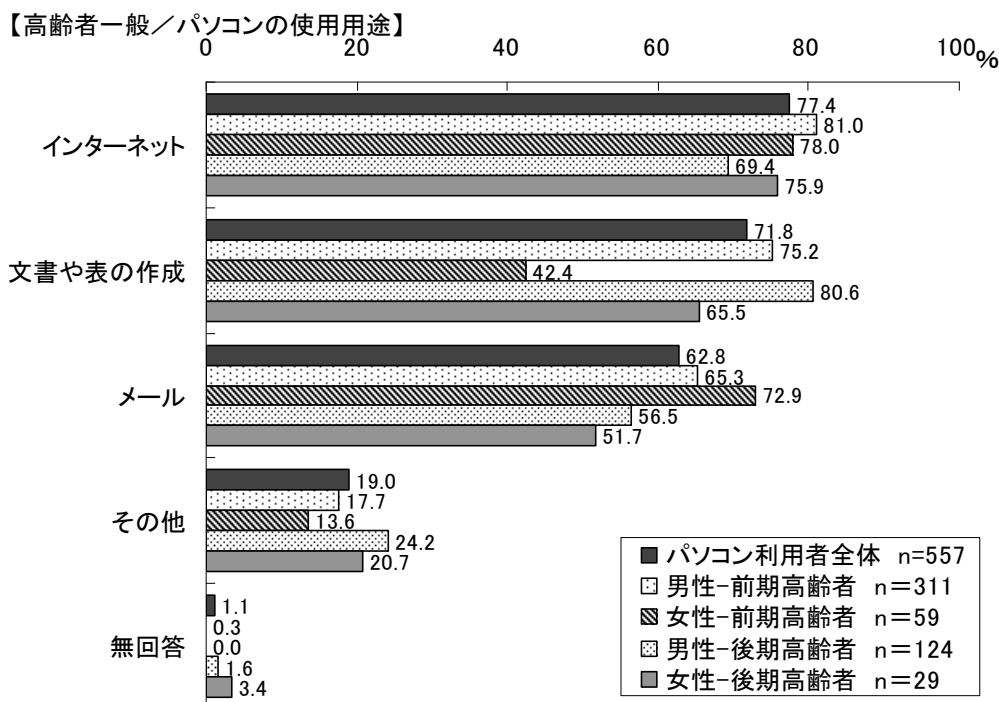


図表 35 男女・年齢区分×携帯電話・パソコンの使用（単数回答）

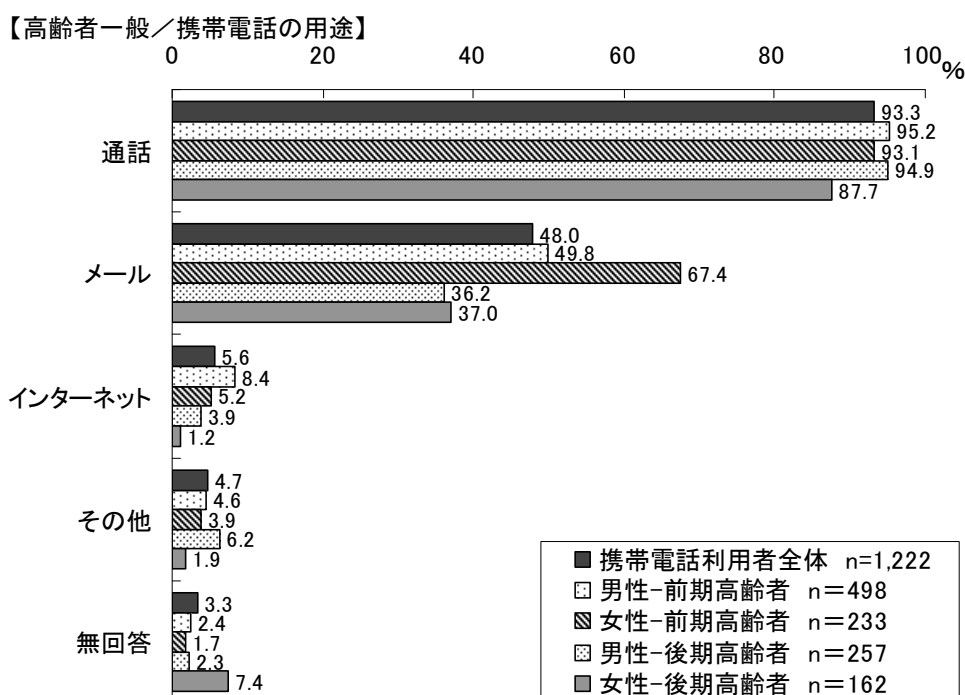
ウ. パソコンの使用用途は、「インターネット」が 77.4%、「文書や表の作成」が 71.8% となっている。

エ. 男女・年齢区分別にみると、「文章や表の作成」については、男女ともに後期高齢者の方の割合が高く、「メール」は男女ともに前期高齢者の方が高い割合となっている。

オ. 携帯電話の用途は、「通話」が最も多く、次いで「メール」となっており、特に女性—前期高齢者の割合が高くなっている。



図表 36 男女・年齢区分×パソコンの用途（複数回答）



図表 37 男女・年齢区分×携帯電話の用途（複数回答）